

**製品名: HGK ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12010**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	142kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MAP4K4 MAP4K4; HGK; KIAA0687; NIK; Mitogen-activated protein kinase kinase kinase 4;
別名	HPK/GCK-like kinase HGK; MAPK/ERK kinase kinase 4; MEK kinase kinase 4; MEKKK 4; Nck-interacting kinase
遺伝子 ID	9448.0
SwissProt ID	O95819
免疫原	抗血清はヒト MEKKK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 406-455

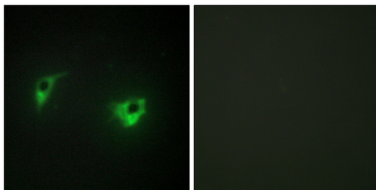
**背景**

マイトジェン活性化プロテインキナーゼ キナーゼ キナーゼ キナーゼ 4 (MAP4K4) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、セリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーのメンバーです。このキナーゼは MAPK8/JNK を特異的に活性化することが示されています。このキナーゼによる MAPK8 の活性化は、MAP3K7/TAK1、MAP2K4/MKK4、および MAP2K7/MKK7 の優性負性変異体によって阻害されることが分かっており、このキナーゼは MAP3K7-MAP2K4-MAP2K7 キナーゼカスケードを介して機能し、TNF- $\alpha$  シグナル伝達経路を媒介する可能性があることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 環境ストレスや TNF- $\alpha$  などのサイトカインへの反応に役割を果たす可能性のあるセリン/スレオニンキナーゼ。JUN N 末端経路の上流で作用すると思われます。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。STE20 サブファミリー。類似性: 1 つの CNH ドメインを含みます。類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。サブユニット: アダプタータンパク質 Nck の SH3 ドメインと相互作用します (類似性による)。CNH 調節ドメインを介して SPG3A の N 末端領域に結合する。組織特異性: 普遍的に存在し、検査した全ての組織種で発現している。アイソフォーム 5 は脳に多く存在し、アイソフォーム 4 は肝臓、骨格筋、胎盤に多く存在する。、

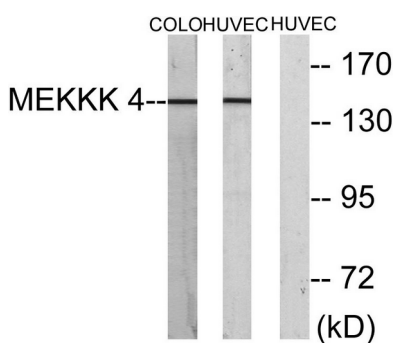
## 研究分野

MAPK\_ERK\_成長;MAPK\_G\_タンパク質;

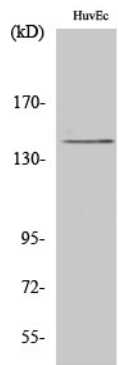
## 画像データ



MEKKK 4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



MEKKK 4 抗体を用いた HUVEC および COLO 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



HGK ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析